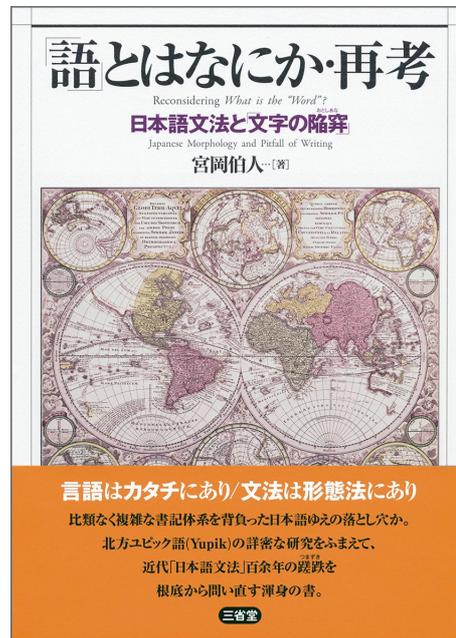
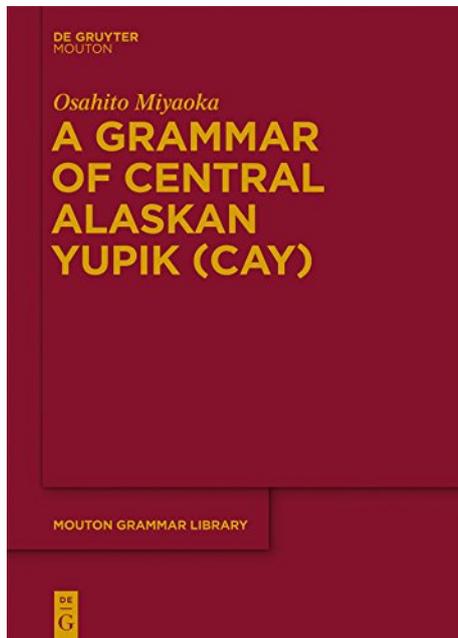


# 語学研究所 「宮岡文庫」



東京外国語大学語学研究所では、本学元教授で世界的に著名な言語学者である宮岡伯人先生から、希少価値の高いエスキモー・北米諸言語の研究書籍の大規模蔵書を御寄贈いただくことになりました。この蔵書は「宮岡文庫」として同研究所に備え付けられ、管理・公開されることとなります。この「宮岡文庫」開設を記念して公開シンポジウムを開催します。

宮岡伯人先生の最近のご研究は、世界的に著名なエスキモー語文法の集大成<sup>1</sup>と並行して、その主要な射程として日本語形態論<sup>2</sup>をも含みこむ壮大な規模に発展してきています。シンポジウムでは、宮岡先生の目下の研究主題の一つである日本語文法をテーマとして、宮岡先生が基調講演をしていただきます。さらに、基調講演のテーマに関連するトピックを扱う、学内外の言語学者の3つの講演が続きます。

<sup>1</sup> Miyaoka, Osahito (2012) *A Grammar of Central Alaskan Yupik (CAY)*, (Mouton Grammar Library [MGL] Book 58), De Gruyter Mouton.

<sup>2</sup> 宮岡伯人 (2015) 『「語」とはなにか・再考: 日本語文法と「文字の陥穽」』三省堂書店。宮岡伯人 (刊行予定) 『姿かたちの日本語文法小見 — ひきとところから』ちくま新書。Miyaoka, Osahito (forthcoming) *Reconsidering Japanese Morphology – Suffixes vs. enclitics in view of Formhood*, (Mouton TiLSM series), De Gruyter Mouton.